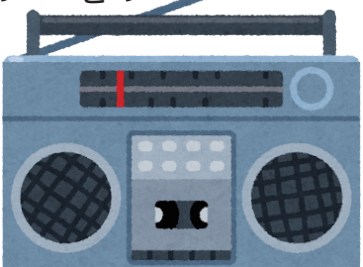


パソコンからアナログから教室新聞

昔、フィルムで撮影し現像した写真、レコードやカセットテープに録音した音楽、ビデオテープに録画した映像、紙の記録や本、これらをまとめてデジタル化。

アナログからデジタルの時代へ

■ 昔前、写真は、フィルム式カメラで撮影し、現像・印刷紙に焼き付け、アルバムに整理しました。音楽は、レコードを購入するか、レコードやラジオからカセットテープに録音し、テープレコーダーで聴きました。映像はビデオテープに録画してビデオデッキで再生、音楽も映像も磁気テープに記録していました。テープが伸びたり機械に絡まったり、そんな失敗もなかったでしょうか。



本や雑誌は今も変わりませんが…すべてがアナログな記録で行っていました。

それが、今やすべてデジタルで管理する時代。記録も管理方法も変わってきました。

デジタルの良い所は「劣化しない」ということです。一度記録すれば半永久的に劣化しません。DVDなど記録メディアには寿命がありますが、データそのものには寿命がありません。

アナログをデジタルに

デジタルカメラやDVDレコーダーなどで記録したデジタルデータはいいとしても、以前のアナログデータは、そのままほとんど劣化します。また、保存場所もかさはります。手間はかかりますが、デジタル化してみればいかがでしょうか。



デジタルデータはいいとしても、以前のアナログデータは、ほとんど劣化します。また、保存場所もかさはります。手間はかかりますが、デジタル化してみればいかがでしょうか。

●ビデオテープ

ビデオデッキとDVDレコーダーを接続してダビングしましょう。一旦ハードディスクにダビングし、不要部分など編集してからDVDに書き出すのが良いでしょう。また、直接パソコンに取り込み、パソコンで編集、管理する方法もあります。

●写真

スキャナーで一枚ずつ取り込み、パソコンで整理しましょう。スキャナーがなければスマートフォンで撮影して保存、という方法もあります。取り込み後は、パソコンで色合いなどの修正も可能です。

●音楽

今もCDで売っていたり、オンラインの配信サービスで手に入るのなら、買い直すほうがよいでしょうが、廃盤になっていたり、個人的な音源などはぜひデジタル化をお勧めします。

更にもうひとつ手間。例えば、音楽が数曲入った片面30分のカセットテープを、そのままとりこむと、30分切れ目のないものになってしまいます。(切れ目がないので頭出しができません)そこで、1曲ずつ切れ目を入れる作業が必要になります。少し面倒な作業になりますが、パソコンに慣れるのにもいいかもしれません。

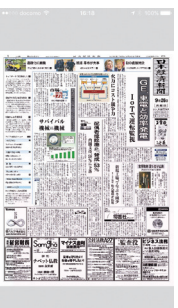
さらに、曲名、アーティスト、アルバム名、ジャケット写真など、曲の情報を1曲ずつに付加します。そうしておくともパソコンで管理したときやスマートフォンに転送したときにも、誰の何の曲かがよくわかります。



●本や雑誌、その他紙のもの

写真と同様、スキャナーでパソコンにPDFデータとして保存し管理します。本1冊やページ数の多いものなどは「ドキュメントスキャナー」という機械を使い一気に保存する方法もあります。その際は本を1ページずつバラバラに裁断する必要があります。

その他、現在購読している新聞や雑誌や本なども、デジタル版に変更する方法もあります。スマートフォンやタブレット端末、パソコンなどで見ることが出来ます。これなら、最初から保管や、ゴミ出しのことで悩む必要はありません。



昔の思い出が詰まったアナログデータ。無くなる前にデジタルに換えて永く保存したいものです。

教室のWebページは左記アドレスまたはQRコードからどうぞ。

新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<http://pc-iwakura.com/>



See you next month